

AIによるシーズ・ニーズ・ウォンツのマッチング。 「データドリブン型 R&D 戦略策定ソリューション」 を DX 推進支援の STANDARD が提供開始。

データ連携により、早期の高付加価値製品開発着手、研究テーマの見極めが可能に。

大手企業を中心に 650 社以上のデジタルトランスフォーメーション（以下「DX」）の推進と内製化を支援する株式会社 STANDARD（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：櫛野恭生、以下「当社」）は、新サービス「データドリブン型 R&D 戦略策定ソリューション」（以下「本ソリューション」）の提供開始を致します。同時に、東証プライム上場の大手化粧品メーカーへの本ソリューションの採用が決定しています。

本ソリューションにより、社内外に点在する各種データを AI により収集・解析・マッチングすることで、シーズ・ニーズ・ウォンツの重なり合う、企業にとって独自性の高いテーマを自動で割り出し、迅速かつ効率的でデータドリブンな研究開発活動・マーケティング活動に基づく事業戦略策定が可能となります。



■本ソリューション開発の背景

VUCA 時代と言われる現在、マルチステークホルダーを意識した企業価値向上、持続的な成長、新

規事業領域の創出といった企業変革への社会的要請は益々強まっています。企業は、いち早く市場の動向を把握し、市場価値の高いプロダクト・サービスを早期に開発、投入する必要に迫られる中、下記のような課題を抱えています。

- ・研究部門の抱えるシーズ情報、営業・マーケティング部門の抱えるニーズ・ウォンツ情報を部門間で連携ができない。
- ・ニーズ先行で研究、開発を行っているが自社の強みや先進的な技術を活かした成果物が得られない。
- ・各所に点在するデータを収集・精読する時間が足りない。

当社は、得意とする AI・DX の知見や技術を用い、創業以来 650 社以上の企業の個社課題解決の支援をして参りました。これら活動により得られたノウハウを集約させ、研究開発からマーケティング、営業までのバリューチェーンにおける業界横断で存在する上記課題への解決策として、本ソリューションを開発し提供致します。

昨年実施した資金調達を経た第二創業期として、創業時より磨き上げてきた先端技術と蓄積してきた企業の課題・ニーズを基に、新たなソリューションを開発していくことで、今後もより多くの企業の課題解決を目指します。

■本ソリューション概要

本ソリューションでは、顧客課題に合わせて構築する「STANDARD AI Matching DB」により以下のデータの自動収集・抽出・マッチングが可能となります。

- ・研究開発活動や特許・文献データ等から得られたシーズ
- ・マーケティング・営業活動等で取得したニーズ
- ・SNS や検索エンジン上のトレンド等から得られた市場データとしてのウォンツ

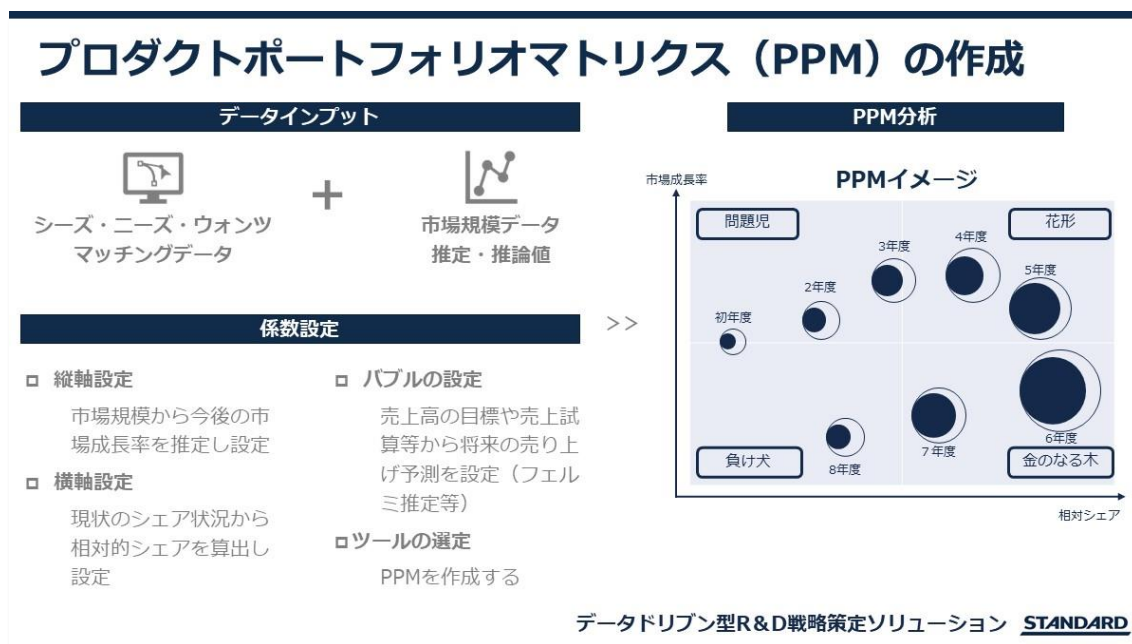
これによりアウトプットされるマッチングデータ等の活用により、市場価値の高いプロダクトの見極め、早期の研究・開発着手が実現します。同時に、従来は労働集約的に行っていたデータ探索・精読といった作

マッチング処理イメージ データドリブン型R&D戦略策定ソリューション **STANDARD**

元データ	自然言語処理	マッチング																																			
<ul style="list-style-type: none"> □ マーケデータ <div style="border: 1px solid gray; padding: 2px;"> イブuproフェンの副作用を解決してほしい </div> □ R&Dデータ <div style="border: 1px solid gray; padding: 2px;"> イブuproフェンを飲んだ患者の80%が頭痛を解消、0.1%が吐き気などの副作用があった </div> □ 特許データ <div style="border: 1px solid gray; padding: 2px;"> ●●成分をイブuproフェンに0.2%含有させることによって吐き気を抑える効果がある </div> 	<p>['イブuproフェン', 'の', '副作用', 'を', '解決', 'し', 'て', 'ほしい']</p> <p>['イブuproフェン', 'を', '飲む', 'だ', '患者', 'の', '80%', 'が', '頭痛', 'を', '解消', 'し', 'て', '0.1%', 'が', '吐き気', 'など', 'の', '副作用', 'が', 'あった']</p> <p>['●●', '成分', 'を', 'イブuproフェン', 'に', '0.2%', '含有', 'させる', 'こと', 'に', 'よって', '吐き気', 'を', '抑える', '効果', 'が', 'ある']</p>	<ul style="list-style-type: none"> □ 医薬品データベース <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="width: 25%;">医薬品名</th> <th style="width: 25%;">効能</th> <th style="width: 25%;">副作用</th> <th style="width: 25%;">関連特許</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>イブuproフェン</td> <td>鎮痛、解熱 ...</td> <td>吐き気</td> <td>●●</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">×</p> <ul style="list-style-type: none"> □ 自然言語処理後の構造化データ <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="width: 10%;">マーケ</th> <th style="width: 30%;">イブuproフェン</th> <th style="width: 15%;">副作用</th> <th style="width: 15%;">解決</th> <th style="width: 30%;">ほしい</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R&D</td> <td>イブuproフェン</td> <td>吐き気</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>特許</td> <td>イブuproフェン</td> <td>吐き気</td> <td>抑える</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">×</p> <p style="text-align: center;"> AIによる解析・マッチング </p> <ul style="list-style-type: none"> □ 結果表示 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">ファイル名</th> <th style="width: 20%;">親和性</th> <th style="width: 20%;">要約</th> <th style="width: 30%;">...</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>特許A</td> <td>80%</td> <td>...</td> <td>...</td> </tr> <tr> <td>R&DデータB</td> <td>50%</td> <td>...</td> <td>...</td> </tr> </tbody> </table> 	医薬品名	効能	副作用	関連特許	イブuproフェン	鎮痛、解熱 ...	吐き気	●●	マーケ	イブuproフェン	副作用	解決	ほしい	R&D	イブuproフェン	吐き気			特許	イブuproフェン	吐き気	抑える		ファイル名	親和性	要約	...	特許A	80%	R&DデータB	50%
医薬品名	効能	副作用	関連特許																																		
イブuproフェン	鎮痛、解熱 ...	吐き気	●●																																		
マーケ	イブuproフェン	副作用	解決	ほしい																																	
R&D	イブuproフェン	吐き気																																			
特許	イブuproフェン	吐き気	抑える																																		
ファイル名	親和性	要約	...																																		
特許A	80%																																		
R&DデータB	50%																																		

業を AI によって自動化・サマライズすることで、人的コスト削減・リードタイムの短縮・探索範囲の拡大が期待されます。

また、本ソリューションでは、作成されたシーズ・ニーズ・ウォンツのマッチングデータに市場規模や推定・推論値等のデータを合わせ「プロダクトポートフォリオマトリクス」の作成することが可能です。当社コンサルタントが伴走することでより具体的な事業戦略策定まで一気通貫でご支援致します。



■プロジェクトステップ

本ソリューションでは、以下のステップで「STANDARD AI Matching DB」の構築を行います。

- ① データ分析
まずはアナログでの現状のデータ状態を調査。PoC に最適な原料、技術領域を抽出。
- ② データ解析設計・PoC 設計
データを解析し、最適な辞書等の調査、PoC 設計を行う。
- ③ PoC 実施
前フェーズの検証結果・PoC の目的・KPI を踏まえて実施。
- ④ 成果評価、次フェーズ計画書作成
PoC 結果を踏まえ、次フェーズの計画を立てる。

※プロジェクト内容により変動しますが、POC 完了まで最短 4 か月を想定しています。

「STANDARD AI Matching DB」の構築後、マッチングデータ等、得られるデータを活用し個社課題に合わせ、プロダクトポートフォリオの作成、具体的な事業戦略策定までご支援致します。

プロジェクトステップ



顧客課題に合わせて構築



得られるデータを活用し、具体的な事業戦略策定へ

データドリブン型R&D戦略策定ソリューション **STANDARD**

■ STANDARD 提供 : DX 推進支援サービスとは

企業が DX 推進を行う際にぶつかる3つの壁を「アイデアの壁」「投資判断の壁」「技術開発の壁」に対して、その解決策となる「DX 人材育成」「戦略コンサルティング」「技術開発支援」の一通貫したサービスを、企業が置かれている状況や課題に応じて、最適な形でご提案・ご提供しています。

DX推進を成功させるためには「3つの壁」を乗り越える必要がある。STANDARDは、DX人材を起点として、その壁を乗り越えるワンストップサービスを提供。



■ 株式会社 STANDARD について

STANDARD は「ヒト起点のデジタル変革を STANDARD にする」をミッションとし、DX 人材育成・戦略コンサルティング・AI 実装支援の3つのサービスを提供し、これまでに650社以上の DX 推進の内製化を支援しています。教育による組織・ヒトの変革をはじめに、1,200人超のエンジニアを輩出する「東大人工知能開発団体 HAIT Lab」や大手コンサルティングファーム出身者、起業経験者によるアジャイルの開発アプローチにより、半年～1年という短期間で DX の成果創出、収益化までを実現します。

公式サイト : <https://standard-dx.com/>



代表取締役社長
櫛野恭生

【サービスに関するお問い合わせ先】
<https://standard-dx.com/contact>